

SEEDs支援事例： 堺エコライフポイントアプリを用いたナッジメッセージ

配信実験（2023年度）



【趣旨】

堺市環境政策課が、堺エコライフポイントアプリユーザの「行動①フードドライブへの寄附」「行動②リユースショップ等への持ち込み」を促すお知らせ配信にナッジを活用した実験を行うにあたり、実験の設計や効果検証を行った。

【課題（ボトルネック）】

- ・手つかず食料品の存在に気付かず、フードドライブに寄附しない
- ・不用品の処分をもっとたいないと考え、リユースショップを利用しない

【概要】

- 対象 堺エコライフポイントアプリユーザ4,023名（属性や活動実績等が偏らないように5つのグループに分類）
 - 期間 2024年2月13日～2月29日
 - 内容 グループごとに行動①もしくは②を促す以下のお知らせ配信を行い、配信前後及び対照群との行動実践率を比較
- グループA: 行動①を促す ナッジを使ったお知らせ
 グループB: 行動②を促す ナッジを使ったお知らせ
 グループC: 行動①を促す ナッジを使わないお知らせ
 グループD: 行動②を促す ナッジを使わないお知らせ
 グループZ: お知らせなし（対照群）



【活用したナッジ】

- ・損失の強調（Attractive）
- ・具体的動作の指示（Easy）
- ・対処方針の事前計画（Timely）

【結果】

- ・フードドライブへの寄附を促すお知らせについて、ナッジを使ったもののほうが行動実践率の向上が見られた。
- ・リユースショップ等への持ち込みは、どちらのお知らせも行動実践率の向上はほぼ見られなかった。

【行動①フードドライブへの寄附】

	実践率の前後差	対照群グループZ	差
グループA	+0.25%	-2.74%	+2.98%
グループC	-1.49%		+1.25%

【行動②リユースショップ等への持ち込み】

	実践率の前後差	対照群グループZ	差
グループB	-0.50%	-0.37%	-0.12%
グループD	+0.25%		+0.62%

※対応のない検定により統計的有意性を検証（いずれも有意差なし）